

新化 *Let's Fight Together!* 進路通信第3号

6月になりました。もうすぐ中間考査です。早いですね。

考査の結果は教科・科目の評定に大きなウエイトを占めます。人を点数で評価することには賛否がありますが、客観的（相対的）なデータとして有効なものであることは認めざるを得ません。3年生の皆さんにとっては特に重要なテストになります。進路ガイダンス（学年集会）での話を思い出してください。

といっても必要以上に緊張することはありません。そもそも「武義高校の生徒としてこれだけはしっかりマスターしてほしい」という資格試験です。逆に言えば「これがマスターされなければ、単位を出せない」という下限でもあります。範囲が示され、授業で受けた内容が中心で、きちんと対策を立てて臨む試験です。監督を立て、午前のみで実施。部活動も最大限配慮されます。

考査期間は勉強時間が増えますね。その習慣を7月はじめのベネッセ学力テスト・ベネッセ記述テストまで継続しましょう。あなたが考査最終日の夜も同じモチベーションで勉強できれば、進学でも就職でも必ず第1志望を勝ち取ることでしょう。

1年生の皆さんにとっては初めての考査です。正々堂々と受けましょう。

《当面の進路関係行事》

- 6 / 2（木）2年生 進路ガイダンス（山内太地氏による進路講演会）
- 9（木）～14（火）前期中間考査
- 18（土）看護模試（希望者 自宅解答）
- 20（月）進路希望調査開始
- 7 / 2（土）1, 2年生 ベネッセ学力テスト
- 3年生 ベネッセ記述模試
- 29（金）30（土）3年生 全統共通テスト模試

《オープンキャンパスについて》

先日、「保護者大学見学会」があり、保護者の方々と静岡大学に行きました。大学の担当教授から説明を受け、そのあとはキャンパス内を自由に散策しました。コロナ禍のため、大学からは建物内の見学は遠慮してほしいという要請を受けていましたし、遠方ということもあって十分な時間はとれませんでした。けれども大学の先生から直接話を聞く機会は貴重でしたし、なによりその大学のキャンパスの雰囲気を感じることができたことは十分有意義でした。散策に出たのはちょうど昼食時で、新緑に囲まれた美しいキャンパスで学生たちが思い思いに談笑している姿を見て、参加した保護者のみなさんも感じるどころがあったのではないかと思います。

現在では学校案内の冊子や、ホームページで必要な「情報」はくわしく得ることができます。しかしその学校の雰囲気や生の姿を「感じる」には直接出向くのが一番です。また自分の目で見て気に入ったのなら、納得できると思います。この2年間コロナ禍で「直接ふれあう」行動が制限され続けました。今も完全にオープンではありませんが、今年になって対面型のオープンキャンパスが一気に復活しているのは、やはり「直接感じてほしい」からでしょう。自分が直接見て、感じて気に入ったことに理由はいりません。洋服選びと同じです。まず本人が気に入ることが重要なのです。

オープンキャンパスへの参加や模擬授業の受講を総合型選抜（AO入試）や学校推薦型選抜（推薦入試）の条件としている学校もあります。

オープンキャンパスのシーズンになります。時間などが許せば上級学校を実際に味わってみてはいかがでしょうか。ただし密を避けるために、予約制の学校が多くなりましたのでご注意ください。また参加の際はコロナ対策を万全に。なお、「オープンキャンパスの日ではなくても自由にキャンパスを見に来ていただいてもいいですよ」という学校は多いです。「学生がいる日常のキャンパス」が見られます。

《雑感》

現1年生から教育課程が新しくなっている。学年進行で新課程に変わっていく。従って1年生は毎年「新しい教科書」で「新しい授業」となる（すべての教科ではないが）。新鮮な気持ちで教科書を選定したり、授業内容を考えたりすることには意味があるのだが、その先に待っている大学入学共通テストの指針についての情報がないままなのがもどかしい。教科によっては（例えば国語科は）共通テストの配点割合と教育課程とで整合性がとりにくい。何事も変化の「元年度」は痛みを伴うものだ。有利も不利もある。

電力不安が報道されている。コロナ禍で換気とマスク、熱中症対策で冷房と飲水。昨年度は「特例」として冷房使用に寛大だったが、電力不足となると、、、自然エネルギーは不安定、原子力は風あたりが強い、水力は設備と時間が膨大に必要。実は日本の石炭火力発電はクリーンだそうだ。しかも石炭は精製も加工も不要で、ほぼ原料のまま使用できる貴重な資源だという。黒い煙を吐き出すのでは、というイメージで語ってはいけない。逆にクリーンとされるエネルギーも目に見えるところはきれいでもだが別のところではクリーンでなかったりする。専門家ではないので間違っていたら申し訳ないが、私たちが便利な生活を手放すことは難しく、電気がない生活は考えられないのは確かだともう。もう一度冷静にエネルギーについて議論する 때가来たのかもしれない。来たるべき夏、無事に乗り切れるとよいのだが。

本校に初めて来校される方がきまって「きれいな校舎ですね」と言われる。ワックスがけでさらにきれいになっていく。自慢の校舎をみなさんも守ってほしい。

《おまけ》

英作文は難しい。私が以前勤めていた高校で、「彼は先生の鏡です。」という英訳問題に対して「He is a mirror of teacher.」という解答があった。その生徒は本気で答えたと思うので、笑うのは失礼だが、この手の勘違いは多々あるだろう。

それはさておき、実際の入試問題から。

「今日の文明は、歴史上の様々な人たちの試行錯誤の上に成り立っている。現在がどれほど豊かに感じられたとしても、私たちがこうした先人たちに対する敬意を忘れることはあってはならない。」を英語の訳しなさい。（2018年 青山学院大学）

「これまで学校や学校以外の場で学んできたことの中で、あなたが最も大切だと思うことは何か、またそれはなぜか。50～60語の英語で答えよ。ただし、英語に関すること以外について述べること。」（2013年 東京大学）